

課題名	かんきつの新品種スイートスプリング
成果の要約	<p>外観はよくないが、酸が少なく、風味良好で豊産性である。</p>
成 績 概 要	<p>これまで適応性の検定を行ってきた興津20号(上田温州×ハッサクの交雑実生)が昭和56年6月22日にスイートスプリングと命名されタンゼロ農林1号として農林登録され公表された。</p> <p>(1) 樹勢は温州みかんより強い、樹体の耐寒性はかなり強く、温州みかんと同程度である。</p> <p>(2) 豊産性であるが、多少隔年結果の傾向が認められる。</p> <p>(3) 果実重は250～300gで果形は偏球形で果面はハッサクより粗い。</p> <p>(4) 果皮色は黄橙色で、ハッサクに似るが緑色の抜けが悪い。</p> <p>(5) 果皮は厚く、ややはく皮が困難である。</p> <p>(6) 果汁は多汁で、糖度は10～12度、酸含量は0.7%前後で風味良好である。</p>

第1表 スィートスプリングの形質

調査年月日	1果 平均重	果皮 歩合	果径比	着色 (カラー チャート)	果皮の 粗滑	種子数	傷の 多少	糖度 (アッペ)	酸含量	糖酸比
昭和54年 2月25日	g 239	% 31.6	1.22	6.2	—	11.0	—	11.2	g/100ml 0.64	17.5
55・2・19	255	30.0	1.16	3.7	粗	11.6	少	9.8	0.74	13.2
56・12・24	296	29.8	1.17	6.6	粗	10.0	少多	9.5	0.75	12.7

成

績

概

要

普及上の留意点

収穫時期になっても緑色の抜けが悪いが、あまり遅くまで着果させないように採収時期に留意する。